

学校法人尚綱学園
尚綱大学短期大学部
機関別評価結果

平成23年3月24日
財団法人短期大学基準協会

尚綱大学短期大学部 の概要

設置者	学校法人 尚綱学園
理事長名	江口 吾朗
学長名	大羽 宏一
ALO	佐澤 安廣
開設年月日	昭和27年4月1日
所在地	熊本県熊本市九品寺2-6-78

設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
総合生活学科		100
食物栄養学科		80
幼児教育学科		150
	合計	330

専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

尚綱大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 23 年 3 月 24 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 21 年 7 月 9 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学を擁する尚綱学園は、九州における女子教育の先駆者でもある佐々友房をはじめとする同志により、明治 21 年に創設された済済齋附属女学校をその源にする。当該短期大学では、佐々友房の掲げた創立の趣旨すなわち建学の精神・教育理念が確立し、「尚綱」という二字で明確に示されている。教育目的・教育目標が明確であり、全学的にも、設置する学科・専攻にも、建学の精神を堅持しながら、「新しい時代への変化に正しく対応できる智徳を兼ね備えた女性の育成」という形で明示されている。また、教育目的・教育目標は、適宜点検されている。

教育課程は 3 学科とも体系的に編成されており、学生のニーズに対応してその内容とレベルは十分である。授業内容、教育方法及び評価方法が学生に明らかにされており、更なる改善への努力がみられる。

専任教員数は短期大学設置基準を充足しており、教員組織等が整備されている。また、授業を快適に行うための改善措置が随時講じられ、教育環境が整備・活用されている。図書館についても十分な設備を備えており、図書館ウェブサイトにより学内外の利用者に各種情報を発信し、他の大学の図書館との相互利用などが活発である。

授業の単位認定の方法に沿って、担当教員の学習評価も適切に行われており、教育目標の達成への努力がみられる。卒業時の調査の結果で、資格取得のための支援を含めた授業の満足度が高いのは、教育目標の達成のための努力が行われているからである。また、卒業生の社会的評価等の調査の取り組みが行われている。

入学式前後の学習支援が組織的に行われており、学生生活支援体制が整備されている。さらに、多様な学生に対する特別な支援や進路支援も適切に行われている。

研究活動のための必要な条件整備が行われており、教員の研究活動は良好である。科学研究費補助金や私立大学教育高度化推進特別経費など学内外への研究補助金への申請が行われ、採択率も良好である。

当該短期大学では、「尚綱公開講座」と教員免許更新講習を開催しており、幅広い市民層からの参加がみられる。

理事会・教授会等の管理運営体制は確立している。事務組織は整備されており、事務職員の能力開発・向上のための研修が活発に行われている。

財務運営が適切に行われており、資産及び資金の管理と運用については、安全かつ適正に管理されている。また、財務状況は、過去 3 ヶ年にわたり均衡し、財務体質は健全である。さらに、当該短期大学に必要な施設設備は整備され、その管理は適切に行われている。

自己点検・評価活動の実施体制が確立しており、多くの教職員が関与するよう配慮されている。また、改革・改善のための努力がみられる。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 幼児教育学科では、「異世代交流力をもつ保育者育成プログラム」や 20 数年継続して行っている夏期研修会は、教員、学生、卒業生（保育関係者）間の直接交流・インターネット交流の取り組みにより経験的学習の重要性や学習を進展させる様々な条件等を学ぶ良い機会であり、教育効果を高めている。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 各学科のフレッシューズガイド（総合生活学科の SOGO スタディガイド、食物栄養学科のフレッシューズガイド、幼児教育学科の幼教ノススめ）は、大学で学ぶことの意義、授業のとり方、資格の取得、マナー、キャンパスライフ、2 年間で目指すことなどが入学生にとって分かりやすく書かれている。そのほか、カリキュラム、図書館利用法、キャリアデザインなどが含まれ、入学時に丁寧な学生生活指導をすることにより、カレッジ・ライフを有効かつ有意義にデザインすることができる。卒業後のキャリアを考える上でも、大変有効である。
- キャリア形成支援プログラムが 1 年時から実施され、キャリア形成、就職のため

の資格取得、そして就職に向けて就職試験対策等、質の高い学習指導、進路指導が行われている。

評価領域Ⅶ 社会的活動

- 当該短期大学では、「尚綱公開講座」と教員免許更新講習を開催しており、地域社会に向けた社会的活動として幅広い市民層からの参加がみられ、積極的に取り組んでいる。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 総合生活学科では「習熟度別クラス」を編成して、基礎学力の向上に向けた取り組みがされており、他の学科についても同様の試みが望まれる。

評価領域Ⅶ 社会的活動

- 尚綱学園は米国モンタナ大学と提携があるので、更に活発な交流の取り組みが望まれる。
- ボランティア活動は低調であるとしているが、過去に実績があるので、今後は活発に活動されることが望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	合
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

当該短期大学では建学の精神が確立し、明確に示されている。佐々友房の掲げた創立の趣旨すなわち建学の精神は、尚綱学園の120年の歴史を貫く精神になるとともに、これを源泉として、女子教育の総合学園が築き上げられた。また、当該短期大学では、教育理念が確立し、明確に示されている。「尚綱」の二字に凝縮された当該学園の教育理念は、今日の教育方針として継承されている。入学式における学長式辞で建学の精神、教育理念に触れ、保護者・入学生には「尚綱」という小冊子を別途配布するなど、建学の精神・教育理念を学生や教職員に知らせている。

また、教育目的・教育目標は、適宜点検されており、各学科教員全員が参画して作り上げ、当該短期大学全体で共有するものとなっている。

評価領域Ⅱ 教育の内容

教育課程は体系的に編成されており、資格取得の学生のニーズに対応してその内容とレベルは十分である。また、学生による授業評価を平成17年度より、またファカルティ・ディベロップメント(FD)研修を平成18年度より実施し、授業改善のための努力を行っている。シラバスには授業概要、到達目標、評価方法、講義内容などが学生にわかりやすく記述されており、また入学生に配布されるフレッシュャーズガイドでは大学で何を学ぶかを分かりやすく記述しており、優れた指導書といえる。このように当該短期大学は、教育内容、学生のニーズへの対応、授業概要の明示、授業改善の努力については十分である。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

専任教員数は短期大学設置基準を満たしており、助手を含めて教員組織等の整備はされている。二つのキャンパスの校舎・校地は併設の大学と共用する部分があるが、短期大学設置基準を満たしている。また、講義室、演習室、実験・実習室等の施設は老朽化しているが、授業を快適に行うための改善措置が講じられている。図書館についても大学の図書館として十分な設備を備えている。このように当該短期大学の教育の実施体制は適正である。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

授業の単位認定の方法は適切で、担当教員の学習評価も適切に行われている。卒業時の調査の結果で、資格支援を含めた授業の満足度は高く、教育目標は達成されている。また、卒業生の就職先からの評価アンケートや、卒業生の学生時代についてのアンケート調査も実施しており、その結果を教育体制の改善に役立てている。

幼児教育学科では、「異世代交流力をもつ保育者育成プログラム」や20 数年継続して行っている夏期研修会は、教員、学生、卒業生（保育関係者）間の直接交流・インターネット交流の取り組みにより経験的学習の重要性や学習を進展させる様々な条件等を学ぶ良い機会であり、教育効果を高めている。

評価領域Ⅴ 学生支援

入学に関する細やかな支援体制が整っている。すなわち、オリエンテーションの実施、フレッシュャーズガイドの作成、クラス指導主任制といった組織的取り組みによって、学生たちに新しい学びに向けてのモチベーションを高めている。キャリア形成のための支援プログラムが1 年時から実施され、キャリア形成、資格取得、そして就職に向けて進路指導が行われている。総合生活学科では「習熟度別クラス」を編成して、基礎学力の向上に向けた取り組みがされており、他の学科についても同様の試みが望まれる。

評価領域Ⅵ 研究

研究活動のための必要な条件整備が行われており、教員の研究活動はおおむね良好である。また、研究成果や教員の主たる業績、所属学会などの研究活動状況は、当該短期大学ウェブサイトや紀要にて一般に公開されている。科学研究費補助金や私立大学教育高度化推進特別経費など学内外への研究補助金への申請がされている。各所属学科における共同研究も活発に行われており、導入教育についての共同研究は成果をあげている。

評価領域Ⅶ 社会的活動

当該短期大学では、「尚綱公開講座」と教員免許更新講習を開催しており、地域社会に向けた社会的活動として幅広い市民層からの参加がみられ、積極的に取り組んでいる。また、学科及び教員個人が様々な地域活動に取り組んでいることから、社会的活動が推進されていると判断する。

尚綱学園は米国モンタナ大学と提携があり、交流を希望する短期大学生がいれば派遣することが制度上可能であるにもかかわらず、国際交流・協力への取り組みが低調な状況となっている。この学生の社会的活動、国際交流・協力への取り組みについては、現状の資格を取得するためのカリキュラム上の時間的制約が主たる理由としてあげられる。

幼児教育学科の取り組みで、熊本市保育連盟主催の「わんぱく祭り」へ参加している。学園祭における近隣地域の子供たち、親子との交流がメインであるが、当該短期大学の地域社会における貢献活動として一定の成果を収めている。

ボランティア活動は低調であるとしているが、過去に実績があるので、今後は活発に活動されることが望まれる。

評価領域Ⅷ 管理運営

理事会・教授会等の管理運営体制は適正である。当該学校法人の運営全般に理事長のリーダーシップが適切に発揮されており、理事会は学校法人の意思決定機関として運営されている。また、学長のリーダーシップが適切に発揮されており、教授会は短期大学の教育研究上の審議（諮問）機関として運営されている。事務部門の規模、並びに事務職員の任用は適切に行われている。事務職員及び事務組織は学生から支持され信頼されており、事務職員の能力開発、事務能力の向上のための内部研修、外部への研修が活発に行われている。さらに、人事管理が適切に行われている。

評価領域Ⅸ 財務

中・長期計画に基づいた事業計画と予算については、関係部門の意向を集約し、決定されている。年度予算は適正に執行されている。日常的な出納業務は円滑に実施されている。資産及び資金の管理と運用については、安全に管理されている。私立学校法の規定に基づき、財務情報が公開されている。財務運営は適切に行われ、財政状態は健全に推移している。また、当該短期大学に必要な施設設備は整備され管理されている。

評価領域Ⅹ 改革・改善

自己点検・評価のための規程及び組織を整備し、定期的に自己点検・評価を行っている。平成 19 年度を起点として、「平成 19 年度自己点検・評価報告書」が作成され、教職員に配布されるとともに、ホームページに掲載されている。また、自己点検・評価活動には多くの教職員が関与するよう配慮されている。さらに、自己点検・評価の

成果は改革・改善に結びつけている。